

報道関係各位

※このリリースは複数の部署にお送りしています。

2015年7月23日

総合的教育改革の実現に向け 2017年度より全学一斉に時間割・学年暦を変更 100分授業・2学期4ターム制導入、学生の留学促進ねらい

明治大学は、「『教育力』の飛躍に向けた総合的教育改革」の第一歩として、2017年度より1コマ100分を基本とする新たな授業時間割や2学期4ターム制を全学一斉に導入します。この改定により、学修の目的に合わせた柔軟な授業設計や学生の海外留学が容易となり、本学のさらなる教育力向上が期待されます。

新時間割では、現在「1コマ90分」の授業時間を「1コマ100分」とし、7講時を6講時に、授業期間を15週から14週に短縮します。また、100分の授業時間を、50分ごとのモジュールという時間単位に区分します*1。これまでより10分長い授業時間と50分単位でのモジュールを活用することで柔軟な授業設計が可能となり、アクティブ・ラーニングなど、学生の主体的な学びを支える教育効果の高い授業を展開しやすくなります*2。

新たな学年暦では、1学期14週の新たな授業期間を7週ごとに2つのタームに区分し、春学期と秋学期の「2学期4ターム制」とします*3。この学年暦の導入により、クォーター期間（7週）で完結する授業が可能となり、学生がより海外留学に挑戦しやすい環境が整います*4。また、祝日の授業実施日も大幅に削減され、ゆとりのある学年暦が構築されます。

明治大学では、単位制度に則った授業時間を確保するための議論を2012年よりスタートし、これを契機に本学の教育力を飛躍的に向上させる抜本的な改革に繋げる「総合的教育改革」をとりまとめました*5。この総合的教育改革は、昨年文部科学省に提出し採択された本学のスーパーグローバル大学構想の基盤にもなっており、新たな授業時間割と学年暦は、その第一歩であり礎となるものです。

* 1：新授業時間割

8:00 ^o	9:00 ^o	9:50 ^o	10:50 ^o	11:40 ^o	12:35 ^o	13:30 ^o	14:20 ^o	15:20 ^o	16:10 ^o	17:10 ^o	18:00 ^o	19:00 ^o	19:50 ^o	20:50 ^o
/ ^o	/ ^o	/ ^o	/ ^o	/ ^o	/ ^o	/ ^o	/ ^o	/ ^o	/ ^o	/ ^o	/ ^o	/ ^o	/ ^o	/ ^o
8:50 ^o	9:50 ^o	10:40 ^o	11:40 ^o	12:30 ^o	13:25 ^o	14:20 ^o	15:10 ^o	16:10 ^o	17:00 ^o	18:00 ^o	18:50 ^o	19:50 ^o	20:40 ^o	21:40 ^o
Mm ^o	1a ^o	1b ^o	2a ^o	2b ^o	Lm ^o	3a ^o	3b ^o	4a ^o	4b ^o	5a ^o	5b ^o	6a ^o	6b ^o	Nm ^o
^o	1時限 ^o		2時限 ^o		^o	3時限 ^o		4時限 ^o		5時限 ^o		6時限 ^o		^o

※Mm はモーニングモジュール、Lm はランチモジュール、Nm はナイトモジュールの略称、補講や授業時間の拡大など補助的に利用^o

* 2 : 1 コマ 100 分の授業をモジュール単位で切り替えること（例：50 分の講義と 50 分のグループディスカッション）や、1 モジュール 50 分を週 2 回実施する授業の導入などが可能になります。

* 3 : 新学年暦（2017 年度の例）2 学期 4 ターム制

春学期						秋学期				
学習指導	春学期授業開始	春学期授業終了	定期試験	夏季休業	(学習日)	秋学期授業開始	冬季休業	秋学期授業終了	定期試験	春季休業
4/1～4/7	4/8～	～7/31	7/24～31	8/1～9/19	9/18.19	9/20～	12/25～1/7	～2/3	1/24～31	2/1～3/31
	第1ターム	4/8 ～ 6/2				第3ターム	9/20 ～ 11/11			
	第2ターム	6/5 ～ 7/22				第4ターム	11/13 ～ 1/23			
春学期授業期間（第1ターム7週＋第2ターム7週＋定期試験1週）						秋学期授業期間（第3ターム7週＋第4ターム7週＋定期試験1週）				

※春学期：ゴールデンウィークの1週間を通し休業

※秋学期：学園祭期間及び前後で5日間程度通し休業

* 4 : 「春学期の後半ターム＋夏期休暇」で海外に留学するなど、学生自らの主体的な学びを促進していきます。

* 5 : 総合的教育改革は次の 8 つの骨子から成ります。

- ① モジュール制による 6 講時の時間割を基に「柔軟な時間割」を構築し、授業の方法・目的に応じた多様な授業設計を可能にすること
- ② 半期 14 週を基本に、これを 7 週間ごとに 2 つのタームに分割し、学期とタームの併用による「柔軟な学年暦」を構築し、各学部等の教育・研究の目的に応じた教育体制を可能にすること
- ③ 「柔軟な時間割」と「柔軟な学年暦」を活用することで授業方法の質的転換を図り、アクティブ・ラーニングを推進すること
- ④ 留学など学生の主体的な学びの機会を提供できる環境を整備し、併せて学ぶ意欲に応えられるプログラムを整備すること
- ⑤ 教員の研究時間を確保するとともに海外との学術交流を活性化し、これを教育に還元すること
- ⑥ 全学カリキュラム・ポリシーを策定し、総合大学としての体系化されたカリキュラムを構築すること
- ⑦ 学部間共通プログラムの整備と併せて、総合大学としての知的資産を最大限に活用した学部間連携教育を推進すること
- ⑧ 学生から見てわかりやすく、かつ持続可能な大学作りに向けた適正なカリキュラム規模を実現すること

<取材に関する問い合わせ>

明治大学 広報課

電話:03-3296-4330 mail:koho@mics.meiji.ac.jp